

- 1 … 第3回理事会・評議員会開催
- 2 … 組織改革・細則一部改正新旧対照表
- 4 … 平成20年度 第4回評議員会・理事会開催
平成21年度事業計画・平成21年度収支予算書
- 6 … 大会記録
- 8 … 技術委員会より 選抜チームの結果
- 9 … 高校新人大会総括 外部指導者の活動報告
- 10… SFA公開講座 他
- 12… インフォメーション・編集後記



●発行/発行人：会長・相川宗一 編集人：高橋 明 ●発行所/(財)埼玉県サッカー協会 住所：〒330-0074さいたま市浦和区北浦和1-21-18雁ヶ音ビル204号室
Tel048-834-2002・Fax048-834-2004 http://www.saitamasfa.com/(年間購読料 1500円)

第3回理事会・評議員会開催 組織改革～SFAミッション実現に向けて

去る2月19日に評議員会、24日に理事会が開催され、09年度に向けて細則改正が行われた。

- ・第1号議案「財団法人埼玉県サッカー協会細則の一部改正」
- ・第2号議案「全国大会出場チーム派遣費執行規程」の一部改正案
特に第1号議案はSFAミッションの「5ヵ年計画」で提示した課題、「組織の拡充」と「委員会制度の充実」に対応したものである。

大きな改正は、以下の通り。

- ・「SFAミッション特別委員会」の設置
- ・「総務委員会」の新設
- ・「フェアプレー・規律委員会」への名称変更
- ・「SFA運営会議」の設置
- ・「特命委員会」の解散

(詳細については、新旧対照表を参照)

そこで、この改正の目的とこれからについて、横山謙三専務理事に話を聞いた。

●「SFAミッション特別委員会」について

「07年にSFAミッションを提案し、理事会決定されてから『SFAミッション特命委員会』を設立しました。委員には各専門

委員会の委員長になってもらいました。

なぜこのような委員会が必要になったかということ、決定権は理事会にあります。SFAの中にSFAとしての“方針”“方向性”について議論する場がありませんでした。『これからどうするのか』という議論ができなかったため、SFAミッションの実現に向けて、具体的に何をどうすればいいのかを考える場として、ミッション委員会を作りました。3月の時点で、すでに16回もの会議を行い、ここから理事会提案となりました。

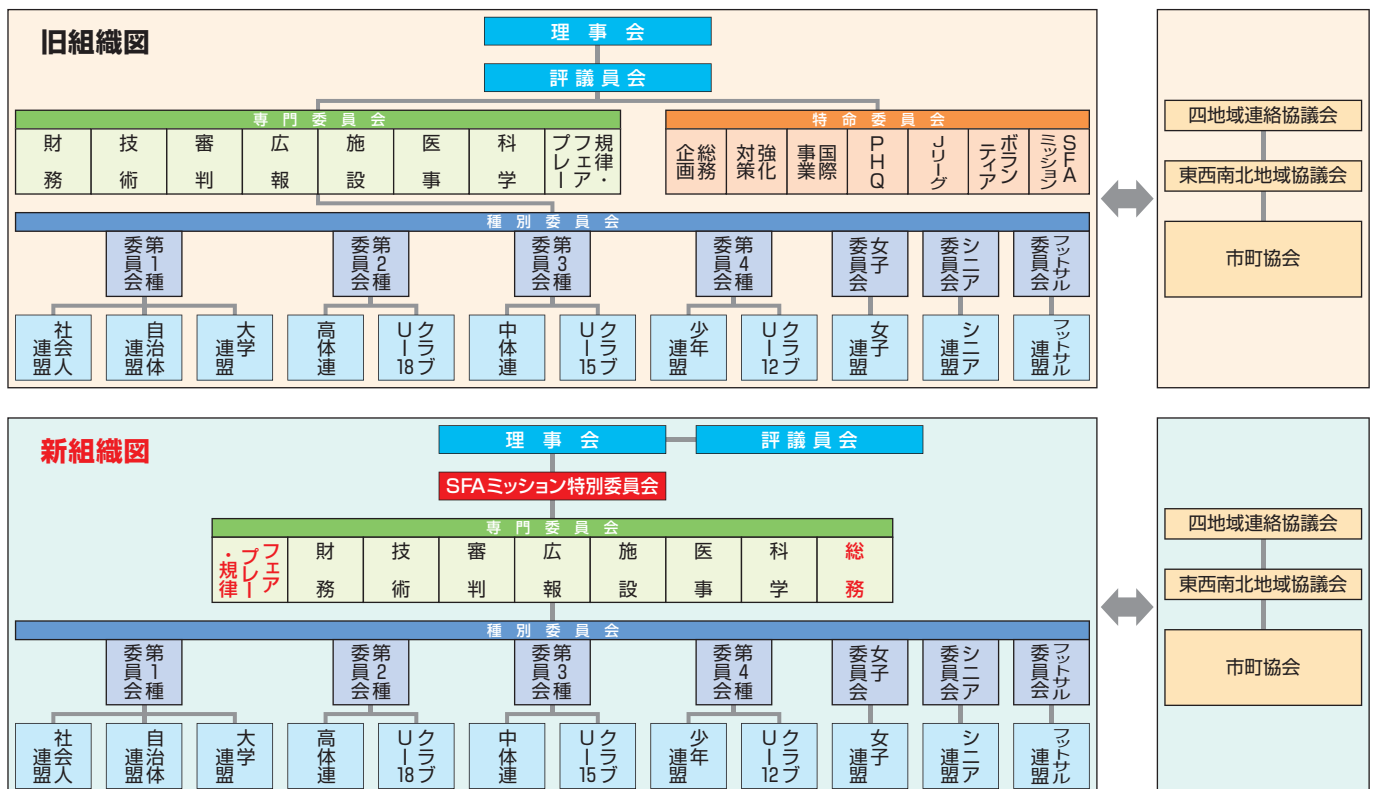
今回の改正で、ミッション委員会は『特別委員会』という組織となり、理事会に直結したものとなります。今まで以上に責任のある委員会となり、各委員にはさらなる自覚が求められます。

●総務委員会の新設

「SFAは財団法人となり4年目を迎え、各専門委員会では対応できない事案が出てきています。これまでは事務局で対応していましたが、これらすべてに対応する委員会として、総務委員会を新たに設置することにしました。

これは特命委員会の廃止とも関わりますが、これまでの特命委員会で扱ってきたものは必要に応じて、総務委員会の中でプロジ

財団法人埼玉県サッカー協会 組織改正



エクトを作って対応していきたいと思ひます。ボランティアや大会運営などは、総務委員会で対応することになると思ひます」

●フェアプレー・規律委員会への名称変更

「これまでJFAに準拠して、SFAでも『規律・フェアプレー委員会』という名称で活動していましたが、実際は懲罰に関することが多く、スポーツで最も大切なフェアプレー精神の啓発活動の取り組みが疎かであったことを反省し、『フェアプレー』を前面に打ち出し、もっと真剣に『フェアプレーとは何か』を考え、生まれ変わりました。時間はかかるでしょうし、なかなか答えは出ないでしょうが、委員長に取り組みんでいただきます。また専門委員会の中でももっとも重要な委員会という位置づけをし、筆頭とすることにしました。」

●SFA運営会議の設置について

「SFAの内部で情報伝達や連絡がチームや地域の皆さんに伝わりにくかったため、SFAの考え方や方針を伝え、会員の皆さんからの意見をお聞きし、相互理解を図るための場が必要でした。

そこで毎月開催ではありませんが、従来の総務企画特命委員会のメンバーに種別連盟の責任者、そして4地区連絡協議会の代表者4名をプラスして「SFA運営会議」を新たに設置することにしました。本当に伝えなければならぬのは、“実働部隊”である連盟の皆さんであり、SFAそのものを支えてくださっている市町協会の皆さんなのです。皆さんと情報を共有して、共通の理解をしていく。これが、SFAがさらに邁進していくためには必要なことだと思うのです。

流れとしては、SFAの考え方を『SFAミッション特別委員会』から提案していき、運営会議で協議し、共有していきます。やはり一つの方向を決めなければ、うまく前進はできません。ですから、この運営会議では言いたいことを言ってもらいたいと思ひます。会員の皆さんとの意思疎通を深めたいと思ひています」

●「特命委員会」の解散

「もともと『特命委員会』というのは、その特命事業が終われば解散するものなのですが、解散せずにズルズル続けていました。もし別途プロジェクトが必要になれば、総務委員会の中でやっていくこととし、今までの『特命委員会』をすべて解散することにしました。」

この細則改正に合わせて、各専門委員会の所管事項も見直しを行った。

ちなみに去る12月には新公益法人法が施行され、SFAとしても「公益法人」になるか「一般法人」になるか、その選択を迫られているところだ。だが、その判断はSFAだけで行うものではなく、上部団体であるJFA、日体協、JOCなどと揃える必要がある。その判断にはまだ猶予があるものの、いきなりの転換は難しいだけに、今から準備が必要となっている。

このような大きな転換期でもあるので、委員会と組織の拡充は急務だ。まずは掲げているSFAミッションの遂行のために、どのような方向性でSFAを運営していくのが当面の課題である。よりよい協会運営をしていくためにも、メンバーの皆さんの協力が不可欠だ。

財団法人 埼玉県サッカー協会 細則の一部改正 新旧対照表

改正前	改正案	理由
<p>第2章 役員、評議員等 (特別委員会) 第9条 会長は、必要に応じて特別委員会を組織することができる。 2 特別委員会の委員は、招集の都度会長が指名する。 3 特別委員会は、会長が理事会に提案しようする事項のうち特に会長が指定する事項を検討する。なお、この委員会は、執行権をもたない。</p> <p>(評議員会) 第10条 省略</p> <p>(定例会議の開催時期及び審議内容) 第11条</p>	<p>第2章 役員、評議員等 (特別委員会) 第9条 (削除して第12条へ)</p> <p>(評議員会) 第9条 省略</p> <p>(定例会議の開催時期及び審議内容) 第10条</p> <p>(SFAミッション特別委員会) 第11条 会長の下にSFAミッション特別委員会を設置する。 2 SFAミッション特別委員会は、次に掲げる事項を検討する。 (1) 県協会の将来構想及び中期計画。 (2) SFAミッションの達成に関すること。 (3) 各専門委員会及び各種別委員会の事業調整に関すること。 (4) 理事会・評議員会への提案事項。 3 SFAミッション特別委員会の委員は、会長が役員及び専門委員会委員長の中から委嘱する。 4 委員長は、会長が指名し委嘱する。 5 会長は、必要に応じてSFAミッション特別委員会の検討事項に関わる学識を有する者を臨時委員として委嘱することができる。 6 この委員会は、執行権を持たない。</p> <p>(特別委員会) 第12条 会長は、必要に応じて特別委員会を組織することができる。 2 特別委員会の委員は、招集の都度会長が指名する。 3 特別委員会は、会長が理事会に提案しようする事項のうち特に会長が指定する事項を検討する。なお、この委員会は、執行権をもたない。</p>	<p>理事会・評議員会に関する条文を上位条文とし、会長の下に置く特別委員会の条文を後ろに置き換える。</p> <p>条文の繰り上げ</p> <p>条文の繰り上げ</p> <p>ミッション特別委員会を専門委員会の上位機関に位置づけ、会長を補佐して、ミッションの検討や専門委員会相互の調整機能を持つ委員会とする。</p>
<p>第3章 専門委員会等 (専門委員会) 第12条 寄付行為第33条の規程に基づく専門委員会は、次に掲げるものとする。 (1) 財務委員会 (2) 技術委員会 (3) 審判委員会 (4) 広報委員会 (5) 施設委員会 (6) 医事委員会 (7) 科学委員会 (8) 規律・フェアプレー委員会</p> <p>2～5項 省略</p>	<p>第3章 専門委員会等 (専門委員会) 第13条 寄付行為第33条の規程に基づく専門委員会は、次に掲げるものとする。 (1) フェアプレー・規律委員会 (2) 財務委員会 (3) 技術委員会 (4) 審判委員会 (5) 広報委員会 (6) 施設委員会 (7) 医事委員会 (8) 科学委員会 (9) 総務委員会</p> <p>2～5項 省略</p>	<p>条文を9条から置き換える。</p> <p>フェアプレー・規律委員会に名称変更し、筆頭に位置づける。</p> <p>総務委員会の新設</p>

<p>(専門委員会の業務) 第13条 専門委員会においては、次の業務を所掌する。</p> <p>(1) 財務委員会 ア 県協会予算(案)及び決算(案)の作成に関する事 イ 県協会基本財産の管理に関する事 ウ 県協会の各事業実施に関する予算の統制に関する事 エ 資金運用、借入等資金計画に関する事 オ 長期財政計画の立案に関する事 カ 経理に関する監督指導に関する事 キ その他財務及び経理に関する重要事項の審議・立案に関する事</p> <p>(2) 技術委員会 ア 強化対策特命委員会との連携に関する事 イ 技術指導に関する事 ウ 選手の発掘・育成・強化に関する事 エ 指導者養成及び資質向上に関する事 オ トレーニングセンターに関する事</p> <p>(3) 審判委員会 ア 審判員及び審判指導者の養成に関する事 イ 公式競技会への審判員及び審判指導者の派遣に関する事 ウ 審判講習会及び研修会に関する事 エ 審判員の賞罰に関する事</p> <p>(4) 広報委員会 ア 広報誌・ホームページ及び報道に関する事 イ 各種競技会の記録の保存・整理に関する事 ウ サッカーに関する資料の収集・保存に関する事</p> <p>(5) 施設委員会 ア サッカー場建設の促進及び整備に関する事 イ サッカースタジアムに関する情報収集及び研究に関する事 ウ 東松山リコー研修センターグラウンドの管理方法及び整備に関する事</p> <p>(6) 医事委員会 ア 県協会主催大会における医事サービスに関する事 イ 県内サッカー選手のスポーツ障害に関する研究及び指導者への助言に関する事 ウ ドーピング及び救急処置に関する調査研究及び啓発に関する事</p> <p>(7) 科学委員会 ア サッカーの科学的調査研究及び研究成果の啓発に関する事</p> <p>(8) 規律・フェアプレー委員会 ア 財団法人日本サッカー協会(以下、「日本協会」という。)行動規範の周知徹底に関する事 イ 日本協会基本規程第12条懲罰に関する規定の遵守に関する事 ウ フェアプレーの推奨に関する事</p>	<p>(専門委員会の業務) 第14条 専門委員会においては、次の業務を所掌する。</p> <p>(1) フェアプレー・規律委員会 ア 財団法人日本サッカー協会基本規程第12章の周知徹底と遵守に関する事 イ フェアプレーの推奨に関する事</p> <p>(2) 財務委員会 ア 県協会の予算(案)及び決算(案)の作成に関する事 イ 県協会の各事業実施に関する予算の統制に関する事 ウ 資金運用、借入等資金計画に関する事 エ 長期財政計画の立案に関する事 オ 経理に関する監督指導に関する事 カ その他財務及び経理に関する重要事項の審議・立案に関する事</p> <p>(3) 技術委員会 ア 埼玉を代表するチームの強化に関する事 イ サッカーの普及と選手の発掘・育成・強化に関する事 ウ 指導者の養成及び資質向上に関する事 エ その他技術指導に関する事</p> <p>(4) 審判委員会 ア 審判員及び審判指導者の養成に関する事 イ 公式競技会への審判員及び審判指導者の派遣に関する事 ウ 審判講習会及び研修会に関する事 エ 審判員の賞罰に関する事</p> <p>(5) 広報委員会 ア 県協会の理念・活動が県民に広く理解・支持される広報・宣伝に関する事 イ 広報誌・ホームページ及び報道に関する事 ウ 各種競技会の記録の保存・整理に関する事 エ その他広報に関する事</p> <p>(6) 施設委員会 ア 施設に関する情報収集及び提供に関する事 イ 県協会専用グラウンドの管理方法及び整備に関する事 ウ その他施設に関する事</p> <p>(7) 医事委員会 ア 選手の健康管理、傷害予防、救急処置及びアンチ・ドーピングに関する事 イ 指導者、審判員、保護者等に対する上記アの教育及び普及に関する事</p> <p>(8) 科学委員会 ア サッカーの科学的調査研究 イ サッカーに対する科学的側面からの啓発・援助</p> <p>(9) 総務委員会 ア 総務、企画、法律、顕彰に関する事 イ ボランティアに関する事 ウ その他の委員会に属さないこと</p>	<p>サッカーの原点である、フェアプレーを筆頭に掲げ、併せて名称変更と文言の整備。</p> <p>文言の整備</p> <p>文言の整備</p> <p>文言の整備</p> <p>文言の整備</p> <p>文言の整備</p> <p>文言の整備</p> <p>文言の整備</p> <p>名称変更し第1号に繰り上げる。</p> <p>委員会の新設</p> <p>条の繰り下げ</p> <p>実体を踏まえた委員会の整備統合により廃止</p> <p>章の新設</p> <p>特命委員会を廃止し、運営会議を新設し、県協会と種別委員会、各種連盟、市町協会との情報連絡を密にする。</p> <p>章・条の繰り下げ</p>
<p>第14条～第19条</p> <p>(特命委員会) 第20条 会長は、県協会の特別な事業等を行うため、特命委員会を設けることができる。</p> <p>(1) 総務企画特命委員会 (2) 強化対策特命委員会 (3) 国際事業特命委員会 (4) キャプテンミッション遂行特命委員会 (5) Jリーグ対応特命委員会 (6) ボランティア特命委員会 (7) SFAミッション特命委員会</p> <p>2 特命委員会は、事業が完結した際には自動的に解散する。 3 特命委員会は、次の事業を所掌する。 (1)～(7) 省略 4 省略</p> <p>第4章～第11章 第21条～第59条</p>	<p>第15条～第20条</p> <p>削除</p> <p>第4章 運営会議 (運営会議) 第21条 県協会は、専門委員会、種別委員会及び市町協会への伝達、調整のため、運営会議を設置する。</p> <p>2 運営会議の委員は、次に掲げる者をもって構成する。 (1) 副会長、専務理事及び事務局長 (2) 専門委員会委員長 (3) 種別委員会委員長 (4) 各種連盟の代表者 (5) 四地域協議会幹事</p> <p>3 前項の委員に事故ある時は、あらかじめ当該委員が指名した者が代理出席することができる。 4 会長は、運営会議を招集し、あらかじめ指名した者が議長となる。</p> <p>第5章～第12章 第22条～第60条</p> <p>附 則 5. この細則は、平成21年4月1日から施行する。</p>	<p>条の繰り下げ</p> <p>実体を踏まえた委員会の整備統合により廃止</p> <p>章の新設</p> <p>特命委員会を廃止し、運営会議を新設し、県協会と種別委員会、各種連盟、市町協会との情報連絡を密にする。</p> <p>章・条の繰り下げ</p>

新旧対照表（条文の繰り下げ）

改正前	改正案	理由
<p>(役員の選出基準) 第2条 役員は、次の各号に掲げる者のうちから選出する。 (1) 埼玉県内の公益活動に従事し、その功績が顕著な者 (2) 第21条に規定する種別委員会を代表する者 (3) 第23条に規定する市町協会を代表する理事 (4) サッカーに関する理解が顕著な者 2 前項の規定にかかわらず、監事のうち1名は、税理士又は公認会計士とする。</p> <p>(評議員の選出基準) 第8条 評議員は、次に掲げるものから選出する。 (1) 第12条に規定する各専門委員会を代表する者 (2) 第21条に規定する第1種の各連盟を代表する者 (3) 第21条に規定する第2種の各連盟を代表する者 (4) 第21条に規定する第3種の各連盟を代表する者 (5) 第21条に規定する第4種の各連盟を代表する者 (6) 第21条に規定する女子の各連盟を代表する者 (7) 第21条に規定するシニアの各連盟を代表する者 (8) 第21条に規定するフットサルの各連盟を代表する者 (9) 第27条に規定する各地域協議会を代表する者 (10) サッカーに関する理解が顕著な者</p>	<p>(役員の選出基準) 第2条 役員は、次の各号に掲げる者のうちから選出する。 (1) 埼玉県内の公益活動に従事し、その功績が顕著な者 (2) 第22条に規定する種別委員会を代表する者 (3) 第24条に規定する市町協会を代表する理事 (4) サッカーに関する理解が顕著な者 2 前項の規定にかかわらず、監事のうち1名は、税理士又は公認会計士とする。</p> <p>(評議員の選出基準) 第8条 評議員は、次に掲げるものから選出する。 (1) 第13条に規定する各専門委員会を代表する者 (2) 第22条に規定する第1種の各連盟を代表する者 (3) 第22条に規定する第2種の各連盟を代表する者 (4) 第22条に規定する第3種の各連盟を代表する者 (5) 第22条に規定する第4種の各連盟を代表する者 (6) 第22条に規定する女子の各連盟を代表する者 (7) 第22条に規定するシニアの各連盟を代表する者 (8) 第22条に規定するフットサルの各連盟を代表する者 (9) 第28条に規定する各地域協議会を代表する者 (10) サッカーに関する理解が顕著な者</p>	<p>第2号、第3号文中の条の繰り下げ</p> <p>第1号から第9号文中、条の繰り下げ</p>

全国大会出場チーム派遣費執行規程の一部改正について

改正前	改正案	理由
<p>(目的) 第1条 この規程の根拠は、財団法人埼玉県サッカー協会寄付行為第2章第4条第5項の事業に基づき、県協会を代表するチームを選定し、派遣するに当たり派遣費を定める規定である。 第2条～第4条の一部省略 (基準) 第4条 (3) C 基準 全国教員選手権大会 JFA 関東ガールズエイト (U-12)大会(特別)</p>	<p>(基準) 第4条 (3) C基準 削除 関東少女サッカー大会(特別) 付則 この規程は平成21年4月1日より施行する</p>	<p>JFAの大会廃止により削除 対象大会変更(特別枠) 参考 C基準 30,000円</p>

平成20年度 第4回評議員会・理事会開催

去る3月23日に評議員会が、同25日に理事会が開催された。議事は以下の通り。

- ・第1号議案 平成20年度第2号補正予算について
- ・第2号議案 平成21年度事業計画について
- ・第3号議案 平成21年度予算について

決定事項は、以下のようにまとめたのでご覧ください。(詳細はホームページに掲載予定です)

平成21年度事業計画(県協会主催のみ)

県内競技会

- 4月
- 第3回埼玉県ユース(U-14)トップリーグ(～12月)
 - 第3回埼玉県ユース(U-15)トップリーグ(～12月)
 - 第24回日本クラブユース(U-15)サッカー大会埼玉県予選(～6月)
 - 第3回埼玉県第4種サッカーリーグ戦(～11月)
 - 埼玉県シニアサッカーリーグ
(40南部、40北部、50、60、ロイヤル)(～11月)
- 5月
- 埼玉県サッカーU-18リーグ(～7月)
 - 彩の国カップ埼玉県サッカー選手権大会(U-18クラブ)(～6月)
 - 高円宮杯第21回全日本ユース(U-15)サッカー大会兼埼玉県中学校第1次予選(～7月)
- 6月
- 高円宮杯第21回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会
埼玉県クラブ大会(～7月)
 - 第33回全日本少年サッカー大会埼玉県予選
 - 第31回埼玉県女子サッカー選手権大会(予選)
 - 第31回県レディースサッカー選手権大会
- 7月
- 彩の国カップ埼玉県サッカー選手権大会(～8月)
 - PUMAカップ埼玉国際ユース

- 高円宮杯第21回全日本ユース(U-15)サッカー大会兼
埼玉県中学校第2次予選(～8月)
- 第31回埼玉県女子サッカー選手権大会(決勝トーナメント)
- 第7回JFA 関東ガールズ・エイト(U-12)サッカー大会
県代表決定トーナメント
- 全日本ユース(U-15)フットサル埼玉県大会(～9月)
- 第6回全日本女子フットサル選手権大会2009埼玉県大会(8月)
- 8月
- 全国高等学校サッカー選手権埼玉県予選<1次予選>
- 高円宮杯第21回全日本ユース(U-15)サッカー選手権大会兼
埼玉県予選(～10月)
- 第5回埼玉県女子ユース(U-15)サッカー選手権大会
- 9月
- 埼玉県総合体育大会兼スポーツマスターズ2009埼玉県予選(～11月)
- PUMACUP 第15回全日本フットサル選手権関東大会
埼玉県予選(一般予選、1次ラウンド)
- バーモントカップ第19回全日本少年フットサル大会
埼玉県大会(～12月)
- 10月
- 全国高等学校サッカー選手権大会埼玉県予選
<決勝トーナメント>(～11月)
- 第21回県少女サッカー大会 兼 第22回関東少女サッカー大会
県予選 決勝トーナメント
- PUMACUP 第15回全日本フットサル選手権関東大会
埼玉県予選(2次ラウンド)(～11月)
- 11月
- 各地区選手権兼彩の国カップ予選(～1月)
- 第12回埼玉県ユース(U-13)サッカー大会中学校大会
学校第1次予選(～12月)
- 第38回埼玉県サッカー少年団中央大会
- 2009第15回全日本ユース(U-15)フットサル大会関東大会

12月

第12回埼玉県ユース(U-13)サッカー大会中学校大会
 学校第2次予選(～1月)
 第3回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権大会
 第2回埼玉県女子サッカー会長杯
 PUMACUP 第15回全日本フットサル選手権関東大会
 埼玉県予選(3次R・代表決定戦)

1月

県リーグ1・2・3部リーグトーナメント彩の国カップ予選(～3月)

第12回埼玉県ユース(U-13)サッカー大会(～2月)

2月

第3回埼玉県第4種新人戦中央大会

3月

第16回熊谷市高校女子サッカー大会「めぬまカップ2010」

県内講習会(抜粋)

●指導者講習会

■2009年度(財)日本サッカー協会公認C級コーチ養成講習会
 1コース:2009年6月5日(金)～7日(日)・7月3日(金)～5日(日)
 2コース:2009年8月8日(土)～12日(水)
 3コース:2009年10月2日(金)～4日(日)・11月6日(金)～8日(日)
 4コース:2010年2月5日(金)～7日(日)・3月5日(金)～7日(日)

■2009年度(財)日本サッカー協会公認D級コーチ養成講習会

1コース:2009年9月12日(土)～13日(日)
 2コース:2009年12月5日(土)～6日(日)
 3コース:2010年1月9日(土)～10日(日)
 4コース:2010年3月27日(土)～28日(日)

■2009年度 JFA公認指導者リフレッシュ研修会

・C・D級リフレッシュ研修会(すべて日帰り20ポイント)
 2009年5月6日(水・祝)、7月18日(土)、9月23日(水・祝)、
 10月12日(月・祝)、12月23日(水・祝)、
 2010年1月16日(土)、2月11日(木・祝)、3月20日(土)
 ※受付期間:講習会開催初日の3ヶ月前～定員に達するまで。詳細はホームページを参照

●レフェリートレセン

4月18日・上尾南高校
 5月9日/7月4日/9月19日/1月9日・リコー
 11月1・8日・駒場サブ
 12月12日/3月20日・市民会館うらわ

●レフェリートレセン実技研修会

8月22・29日・未定、2月7・11・14・20日・県内各地
 ※日程・場所はホームページで要確認

平成21年度収支予算書 平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

財団法人 埼玉県サッカー協会
 (単位:千円)

	予算額	前年度予算額	増減
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
①基本財産運用収入	(500)	(500)	(0)
基本財産利息収入	500	500	0
②事業収入	(106,941)	(118,336)	(△11,395)
(1) 参加料収入	37,915	36,445	1,470
(2) 事業補助金収入	22,816	19,481	3,335
(3) 運営受託金収入	23,500	33,990	△10,490
(4) 売店出店手数料収入	1,200	1,000	200
(5) リコー共益費収入	3,800	4,500	△700
(6) 入場料収入	8,000	7,000	1,000
(7) プログラム販売収入	7,550	3,000	4,550
(8) 広告料収入	2,160	12,920	△10,760
③補助金収入	(37,837)	(32,673)	(5,164)
(1) 日本協会補助金収入	28,337	26,373	1,964
(2) 県体育協会、埼玉県補助金収入	9,500	6,300	3,200
④登録料収入	(172,158)	(169,604)	(2,554)
(1) チーム選手登録料収入	116,057	114,363	1,694
(2) 役員登録料収入	600	3,000	△2,400
(3) 審判員登録料収入	55,501	52,241	3,260
⑤寄附金収入	(22,000)	(3,000)	(19,000)
(1) 協賛金収入	22,000	3,000	19,000
⑥記念事業積立金取崩収入	(0)	(5,000)	(△5,000)
(1) 記念事業積立金取崩収入	0	5,000	△5,000
⑦雑収入	(156)	(56)	(100)
(1) 受入利息	6	6	0
(2) 雑収入	150	50	100
事業活動収入計	339,592	329,169	10,423
2. 事業活動支出			
①事業費支出	(283,192)	(273,675)	(9,517)
(1) 競技会開催事業費	63,720	66,900	△3,180
(2) 選手育成登録事業費	109,502	102,034	7,468
(3) 指導者審判員養成登録事業費	64,766	60,523	4,243
(4) 普及調査研究事業費	32,414	30,418	1,996
(5) 代表チーム選定派遣事業費	1,570	1,580	△10
(6) 地域間・国際交流事業費	6,000	7,000	△1,000
(7) 広報紙等刊行事業費	5,220	5,220	0
②管理費支出	(52,000)	(51,350)	(650)
③特別事業積立金支出	(0)	(10,000)	(△10,000)
④100年記念事業	(0)	(8,000)	(△8,000)
事業活動支出計	335,192	343,025	△7,833
事業活動収支差額	4,400	△13,856	9,456
II 法人税等	4,000	3,949	51
III 予備費支出	400	14,985	△14,585
当期収支差額	0	△32,790	32,790
前期繰越収支差額	0	32,790	△32,790
次期繰越収支差額	0	0	0

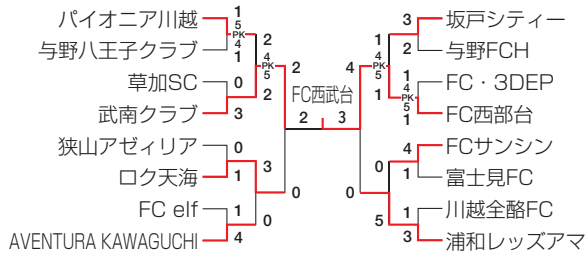
注) 前年度予算額は第1号補正予算後の金額になります。

大会記録 ● 県内大会

1種・社会人

2009年度「第12回杯の国カップ埼玉県サッカー選手権大会」兼「第89回天皇杯」県1/2部リーグ代表決定戦

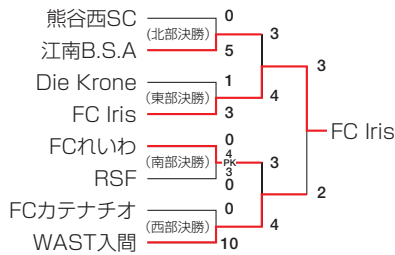
1月25日～3月15日 熊谷文化スポーツ公園他



※FC 西部台が初出場する

平成21年度杯の国カップ各地区別選手権大会決勝戦及び決勝大会

1月11日～3月15日 熊谷文化スポーツ公園他



※FC Iris が初出場する

2種

平成20年度埼玉県U-17トップリーグ

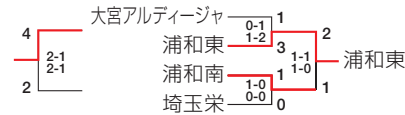
2月1日～2月21日 駒場スタジアム他

リーグ結果

Aグループ	アルディージャ	浦和南	西武台	大宮南	勝点	得失点差	順位
大宮アルディージャ	*	●0-1	○4-1	○5-0	6	+7	1
浦和南	○1-0	*	●1-2	○3-0	6	+3	2
西武台	●1-4	○2-1	*	○2-0	6	±0	3
大宮南	●0-5	●0-3	●0-2	*	0	-10	4

Bグループ	埼玉栄	浦和東	川越南	市立浦和	勝点	得失点差	順位
埼玉栄	*	○3-1	△1-1	○4-2	7	+4	1
浦和東	●1-3	*	○3-0	○2-0	6	+3	2
川越南	△1-1	●0-3	*	△0-0	2	-3	3
市立浦和	●2-4	●0-2	△0-0	*	1	-4	4

●1～4位決定トーナメント



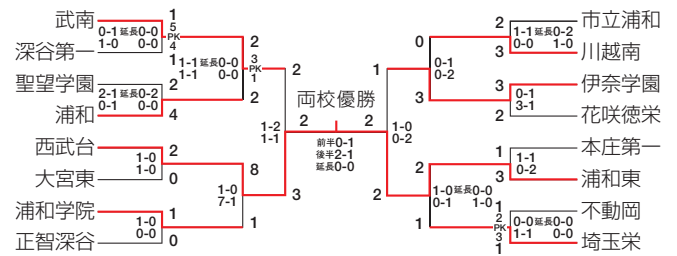
※優勝した浦和東が09年度の関東プリンスリーグ2部を戦う(7回目)



決勝 浦和東-浦和南

平成20年度埼玉県高等学校サッカー新人大会決勝トーナメント

1月17日～25日 駒場スタジアム他



※西武台は4回目、浦和東は6回目となる両校優勝



決勝 西武台-浦和東



決勝 西武台-浦和東

3種

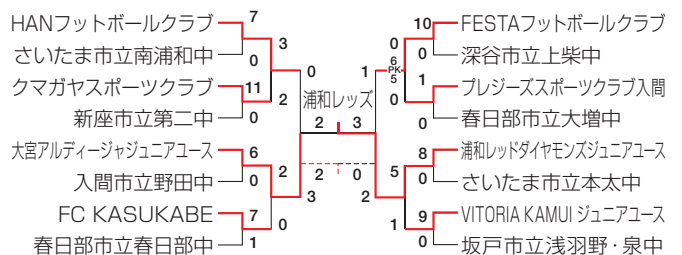
2008年第2回埼玉県ユース(U-14)サッカーリーグトップリーグ

●2月11日現在

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	フットボールクラブ深谷	5	1	1	16	+9
2	クマガヤSC	5	0	1	15	+16
3	武南ジュニアユースFC	4	1	2	13	+15
4	狭山ジュニアユースFC	4	1	1	13	+5
5	GRANDE FC	4	0	3	12	+2
6	フォルチFC	1	1	5	4	-4
7	さいたま田島中学校	1	1	5	4	-17
8	本庄南中学校	0	1	6	1	-25

第11回埼玉県ユース(U-13)サッカー大会選手権大会

1月17日～2月8日 熊谷文化スポーツ公園他



※優勝は浦和レッズ

4種

第3回埼玉県第4種新人戦中央大会

2月15日～22日 埼玉スタジアム第3グラウンド他

サイタマジュニアフットボールクラブ	2	0	3	1	上福岡少年少女サッカークラブ
大桑サッカースポーツ少年団	0	0	0	2	FCアピリスタ
新座たけしのキッカーズ	1	0	0	6	江南南サッカー少年団
すみれJrフットボールクラブ	2	0	0	4	ジュベニール白岡スポーツ少年団
新座片山FC少年団	2	0	0	1	Futbol Club Cano
レジスタFC	0	0	0	2	大宮アルディージャジュニア
上尾大石サッカースポーツ少年団	1	1	3	0	レアル狭山Jr.
宮前サッカークラブ	2	1	2	0	浦和尾間木サッカースポーツ少年団

※ 大宮アルディージャジュニアは初優勝



決勝 大宮アルディージャ vs サイタマジュニアフットボールクラブ

女子

平成20年度埼玉県高等学校女子サッカー新人大会

1月24日～2月15日 川越陸上競技場他

本庄第一	11	0	5	1	久喜
山村	0	0	0	4	入間向陽
和光国際	0	0	0	0	市立浦和
熊谷女子	5	0	6	0	川口総合
浦和西	5	0	0	0	浦和一女
大宮開成	0	2	0	0	松山女子
花咲徳栄	0	0	0	1	庄和
埼玉栄	7	0	0	3	埼玉平成

※ 埼玉平成は2年連続10回目の優勝



決勝 埼玉平成-本庄第一

フットサル

埼玉県フットサル1部リーグ

●最終結果

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	烏天狗	6	1	1	19	+20
2	ロクFC	6	0	2	18	+23
3	Pure City IMPERIO	6	0	2	18	+16
4	F & F	4	1	3	13	-5
5	1FC川越水上公園	4	0	4	12	-10
6	坂戸龍門	3	0	5	9	-6
7	マカブ〜	2	2	4	8	-10
8	ra'pido	2	1	5	7	-4
9	Mid field	0	1	7	1	-24

※ 1位の烏天狗が関東2部参入戦へ

女子フットサルリーグ

●最終結果

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	dolce da donna	12	3	1	39	+72
2	CHU-BAR	12	3	1	39	+53
3	I.F.C/hermes	9	4	3	31	+18
4	CFP-LASLEONAS	9	3	4	30	+37
5	ロクFC・Grama	8	0	8	24	+4
6	城北ランシールズ	4	0	12	12	-27
7	Orange Cab!	3	3	10	12	-46
8	FILHO Ladies	2	4	10	10	-29
9	Great Vance	2	0	13	6	-83

大会記録●県外大会

3種

関東ユース(U-15)リーグ入れ替え戦参入戦

1月17日～2月15日 前橋総合運動公園他

1回戦 FC CORUJA 3-2 FC古河

2回戦 FC CORUJA 2-3 前橋FC

※FC CORUJAは関東リーグに参入できず。横浜FCジュニアユースとFC東京深川U-15が昇格

女子

関東女子サッカーリーグ入れ替え戦

1月10日～18日 武蔵丘短期大学グラウンド

武蔵丘短期大学 2-0 FC小坂エルオンセ(神奈川)

尚美学園大学 1-0 FCVIDAレディース(千葉)

●決定戦

東京女子体育大学(関東8位) 3-0 尚美学園大学

FC PAF(東京) 1-0 武蔵丘短期大学(関東7位)

※尚美学園大学は昇格できず。武蔵丘短期大学は県リーグに降格。

フットサル

PUMA CUP 2009 第14回全日本フットサル選手権関東大会

1月18日～24日 神奈川県立体育センター

●Bブロック

1回戦 Arista埼玉 2-3 P.S.T.C.LONDRINA/S-tadio(神奈川)

関東女子フットサルプレリーグ

12月14日・27日・1月24日 神奈川県立体育センター他

●予選リーグB

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	doice da donna (埼玉県)	3	0	0	9	+12
2	アマレーロ/峰FC (栃木県)	2	0	1	6	+7
3	にっぽち (山梨県)	1	0	2	3	-6
4	マルバレガッタFC (茨城県)	0	0	3	0	-13

●順位決定戦

doice da donna(埼玉) 2-4 ファンレディース(東京)

技術委員会より

選抜チーム結果 / 2種

関東U-16トレセンリーグ

●最終結果

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	神奈川県トレセン	6	0	1	18	+14
2	東京都トレセン	5	1	1	16	+12
3	埼玉県トレセン	5	0	2	15	+7
4	群馬県トレセン	3	0	4	9	-6
5	山梨県トレセン	2	2	3	8	+1
6	千葉県トレセン	2	2	3	8	-9
7	栃木県トレセン	2	1	4	7	+3
8	茨城県トレセン	0	0	7	0	-22

3種

関東U-15トレセンリーグ

●Aグループ 最終結果

Aグループ	東京都	神奈川県	埼玉県	山梨県	勝点	得失点差	順位
東京都	*	○2-0	○3-1	○3-1	9	+6	1
神奈川県	●0-2	*	○4-1	○3-2	6	+2	2
埼玉県	●1-3	●1-4	*	○4-3	3	-4	3
山梨県	●1-3	●2-3	●3-4	*	0	-4	4

●順位決定戦

埼玉県トレセン(Aグループ3位) 0-5 茨城県トレセン(Bグループ3位)

関東U-14トレセンリーグ

●最終結果

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	神奈川県トレセン	6	0	3	18	+12
2	東京都トレセン	5	2	2	17	+13
3	茨城県トレセン	4	4	1	16	+3
4	埼玉県トレセン	4	3	2	15	+5
5	群馬県トレセン	4	0	5	12	-7
6	山梨県トレセン	4	0	5	8	-8
7	栃木県トレセン	2	3	4	9	-7
8	千葉県トレセン	1	2	6	5	-21

4種

関東U-13トレセンリーグ

●最終結果

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	東京都トレセン	6	1	2	19	+9
2	栃木県トレセン	4	2	3	14	-2
3	埼玉県トレセン	4	1	4	13	+2
4	神奈川県トレセン	3	2	4	11	-5
5	千葉県トレセン	3	1	5	10	-3
6	山梨県トレセン	2	1	6	7	-14
7	茨城県トレセン	1	1	7	4	-23
8	群馬県トレセン	1	1	7	4	-25

女子

関東広域5年生トレセン交流会

3月8日 館林市青少年ひろば

チーム	埼玉県	茨城県	千葉県	栃木県	群馬県	勝点	得失点差	順位
埼玉県	*	○1-0	△0-0	○3-0	○2-0	10	+6	1
茨城県	●0-1	*	△0-0	○1-0	○2-0	7	+2	2
千葉県	△0-0	△0-0	*	○2-0	△0-0	6	+2	3
栃木県	●0-3	●0-1	●0-2	*	○4-2	3	-4	4
群馬県	●0-2	●0-2	△0-0	●2-4	*	0	-6	5

第5回関東女子U-15トレセンリーグ

●最終結果

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	茨城県トレセン	8	0	0	24	+39
2	神奈川県トレセン	5	1	2	16	+29
3	東京都トレセン	5	1	2	16	+13
4	埼玉県トレセン	4	2	2	14	+7
5	千葉県トレセン	4	1	3	13	+5
6	栃木県トレセン	4	0	4	12	±0
7	山梨県トレセン	2	1	5	7	-5
8	群馬県トレセン	1	0	7	3	-37
9	長野県トレセン	0	0	8	0	-51

第6回関東女子トレセンリーグ(U-12)

●最終結果

順位	チーム名	勝	分	負	勝点	得失点差
1	東京都選抜	6	0	1	18	+24
2	埼玉県選抜	6	0	1	18	+12
3	神奈川県選抜	4	1	2	13	+18
4	千葉県選抜	4	0	3	12	-1
5	栃木県選抜	3	0	4	9	-4
6	茨城県選抜	2	1	4	7	-6
7	山梨県選抜	1	1	5	4	-18
8	群馬県選抜	0	1	6	1	-24

第15回少女サッカー都県選抜チーム関東・東北交流大会

1月18日 リコー東松山研修センター

●予選リーグ

Aブロック	埼玉県	東京都	福島県	勝点	得失点差	順位
埼玉県	*	△1-1	○6-0	3	+6	1
東京都	△1-1	*	○5-0	3	+5	2
福島県	●0-6	●0-5	*	0	-11	3

●優勝決定戦

埼玉県選抜 4-1 神奈川県女子トレセンU-12

※埼玉県選抜は2連覇

第16回神奈川県少女選抜招待サッカー大会

2月7日・8日 神奈川県立体育センター球技場

●予選リーグ

Aブロック	埼玉	神奈川B	長野	勝点	得失点差	順位
埼玉	*	○6-0	○7-0	6	+13	1
神奈川B	●0-6	*	○2-0	3	-4	2
長野	●0-7	●0-2	*	0	-9	3

●1~4位決定戦

埼玉県選抜 0-5 東京都選抜

●3位決定戦

埼玉県選抜 2-2 千葉県選抜
(4PK3)

トリムカップ2009 第1回全国女子選抜フットサル大会関東大会

2月1日 栃木市総合体育館

●Aグループ

	埼玉県	栃木県	神奈川県	勝点	得失点差	順位
埼玉県選抜	*	○3-0	○3-2	6	+4	1
栃木県選抜	●0-3	*	○2-1	3	-2	2
神奈川県選抜	●2-3	●1-2	*	0	-2	3

●決勝

埼玉県選抜 0-2 東京都選抜

※東京都選抜が関東代表となった

■平成20年度県高校新人大会総括

求めたいのは、ハイプレッシャーの中での基本技術の精度とバイタルエリアにおける仕掛け

埼玉県高体連技術委員(和光国際高校) 宮下雄全

平成20年度新人大会は、支部予選を勝ち上がった8チームに高校サッカー選手権ベスト8(中央リーグ)を加えた16チームでトーナメント戦が行われた。決勝戦は、1試合1試合接戦をものにして勝ち上がった浦和東と圧倒的な攻撃力で勝ち上がってきた西武台との対戦となった。結果は延長でも決着がつかず両校優勝という形で終わり3位に武南、伊奈学園が入った。

優勝した浦和東は、つなぎに関してやや雑な所もありミスも目立ったが、前線からの追い込み、1stDF、チャレンジ&カバーの徹底など守備に関しての意識が高く、時間とスペースを与えないサッカーを展開した。攻撃では切り替えの速さと運動量で主導権を握り、バイタルエリアでも積極的に仕掛け多くのチャンスをつくった。一方の西武台は、少ないタッチと早いパス回しでボールを動かし、長短のパスをおりませながらピッチを広く使う多彩な攻撃が特徴であった。決勝では浦和東のプレッシャーに思うようにいかない場面が多かったが一人一人の技術は高く、潜在能力の高さを感じられた。3位の武南はFW2人の鋭い攻撃に迫力を感じるが、周りの押し上げが少なく、孤立してしまい単調に

なってしまうことが多かった。伊奈学園はボールを動かし両サイドを使った攻撃でチャンスをつくるが、80分間走りきる体力とフィジカルコンタクトに課題を残した。

新人大会を振り返ってみると動きながら、ハイプレッシャーの中での基本技術の精度が必要だと感じた。動きながらのコントロール、スピードにのったコントロール、次のプレーを意識した上でのファーストタッチ、パス、シュートなど、プレッシャーの厳しい状況になればなるほどミスが多く、チャンスをつぶしていた。ゲームの中において、いかに少ないチャンスを物に出来るかが鍵になってくるのだと思う。また、バイタルエリアにおける仕掛けが少なかったように感じた。勝負して欲しいところで簡単に後ろに戻したり、ただ中に入れるだけのクロスなど、ミスを恐れての消極的プレーが多かった。やるべきこと、できることをトライしてのミスであれば、その経験を次に生かすことが出来る。ミスから学ぶことで試合の状況を読む力や駆け引きが育てられるのだと思う。まだ新チームだったばかりであるので、いろいろな可能性に挑戦してほしい。

■外部指導者の活動報告 Vol.3 ～石田敏之氏～

今回は、春日部市豊野中学校で指導をしていただいている石田敏之氏に登場していただいた。石田氏は浦和北高校から埼玉大学に進学し、全国教員系大学大会で優勝経験を持つ。卒業後は高校教諭として、各校のサッカー一部顧問を歴任され、一昨年退職された。

「豊野中では試合のある土日を中心に指導を行っています。3年生は顧問の町田さんが指導され、私は2年生と1年生合わせて25人程度を担当し、秋以降は1年生を中心に指導しています。

豊野中は野球や卓球に外部指導者が入るなどスポーツに理解のある学校です。また町田さんがいい指導をしておられ、選手たちのやる気やサッカーへの取り組み方はいいと思います。それは結果にも表れ、秋の市内の大会ではベスト4、2月に行われた宮代での大会では、草加ジュニアに敗れましたが準優勝といい成績を収めています。ゴールに向かっていく姿勢が消極的だったり、守備でのボールへの寄せが甘いなど課題もありますが、これらを克服できれば、もっといいチームになるのではないのでしょうか。確かにクラブでプレーしている選手が優れているかもしれませんが、中学でも魅力のある選手がいるのは確か

です。

実際、トレーニングそのものを指導していないものですから難しいですね。それでも行けば町田さんから『どんどん指導してください』と声をかけていただき、感謝しています」

顧問・町田久夫氏

「今まで自分なりに勉強してきましたが、自分だけの感覚で指導をしてきました。石田さんには別の角度から指導していただき、助かりました。例えば、試合の中でどのようにして崩すのか、点を取るのかという指導はしているのですが、石田さんは『基礎が足りないからだ』とヘディング練習を入れるなどして、選手たちを改善してもらっています。実際、ヘディングのクリア、CKからのヘディングシュートの精度は上がりました。

当初は試合の日だけの指導をお願いしており、生徒たちとのコミュニケーションが難しいという時期もありましたが、夏休みには頻繁に来ていただくようになり、以後はスムーズに行くようになりました。来年度もぜひ続けていただきたいと思います」

ガールズフェスティバル開催

2月28日、埼玉スタジアム第4グラウンドにおいて「ガールズサッカーフェスティバル in 埼玉2009」が開催された。女子中学生へのサッカーの普及を目的とし、埼玉県教育委員会が共催となり、全県から「サッカーをしたい」という女子中学生が集まった。

今回、指導に当たったのは女子技術委員会のスタッフ。代表して長谷川曉雄・女子技術委員長に話を聞いた。

「当日は50名強と思ったより参加者が多く、それも半分くらいは、女子委員会のU-15以外で活動しているようでした。ですから、もっ



と初心者が多いかなと思っていましたが『昔やっていた』『男子と一緒にやっている』という声が多く、『体育だけ』というのは、10人未満でした。実際『男子と一緒にやっている』という参加者は上手かったですね。いい素材はまだまだいるのです。

今回の手応えから、女子サッカーの情報を発信するイベントが年2回程度は必要だと感じました」



スポーツマネージャーズカレッジ (SMC) ・ SFA公開講座開催

去る2月14日、埼玉教育会館にて「公開講座」が開催された。本講座の目的は世界、日本、地域におけるスポーツビジネスマネージメントを知ることです。

まずサッカーから始まった浦和スポーツクラブの現状を司会でもある小野崎研郎氏から説明があり、続いて「地域とともに歩む 大宮アルディージャ」では、大宮アルディージャの渡邊誠吾代表が講師として登場し、アルディージャが掲げるビジョンとミッションを説明していただいた。アルディージャとしての「地域の人たちを大切にしたい」という思いが伝わってきた。

次に電通サッカー事業局のプロジェクトマネージャーである平野宣行氏から「サッカービジネスの世界」というテーマにした話をしていただいた。平野氏の「日本におけるスポーツの価値を高めていかないと日本のサッカーは世界のレベルに到達しない」という話は、成熟するには競技レベルの向上だけではないということを改めて認識させられたと言っていいのではないかと。

この講座は SMC-Project 委員会にて企画され、多くの協力者により行われた。今回はそのプロジェクトマネージャーの小豆澤事務局長に話を聞いた。

「スポーツマネージャーズカレッジの受講生はもちろん、一般の方々に、競技の向こうにあるもっと大きな世界を知ってもらいたいと考えて、今回の講演会が企画されました。アンケートからは『実際に関わっている人の生の声を聞くことができよかった』という声が多く、さらに『具体的なスポンサーの集め方を聞きたかった』『クラブ運営についてもっと聞きたかった』など、マネジメントに興味、関心を持った人が多いのには驚きました。これからも皆さんのニーズに合わせた講座を提供していきたいと思っています」

また違う、サッカーへの関わり方を知ること、もっとサッカーに興味を持っていただきたい。



平野宣行氏

渡邊誠吾氏

トレセンスタッフ総会開催

3月15日に岩槻駅前コミュニティセンターにて、トレセンスタッフ総会を開催した。U-16~12、GK、女子の各スタッフから活動報告がなされた。

大きな課題としては、レッズとアルディージャの選手と交流を始めるかということが挙げられたが（現状ではU-15の春休みに合流）、これは09年度の中で検討していくことになった。また小林委員長から3種年代の関東トレセンリーグに県選抜ではなく、4地区が順番に参加することが提案されたが、これも懸案事項となった。

喜ばしいこととしては、トレセンを経験した選手たちが、着実にプロ選手になってきていること。トレセンが、その一助になればと考えている。

【参考】09年度埼玉出身Jクラブへの新加入選手一覧

福田俊輔（西武台高校～法政大～大宮）

島田祐輝（西武台高校～駒澤大～水戸）



三門雄大（富士見プリメイロ～流经大柏高校～流经大～新潟）
山田直樹（浦和ユース～浦和）
高橋峻希（浦和ユース～浦和）
濱田水輝（浦和ユース～浦和）
永田拓也（浦和ユース～浦和）
原口元気（浦和ユース～浦和）
新井涼平（大宮ユース～大宮）

指導者講習会開催

去る3月15日、岩槻駅東口コミュニティセンターにおいて県技術委員会主催の指導者講習会（PHQ ミッション9から補助金あり）を開催した。演題は2つ。

・「サッカー指導におけるコミュニケーションについて」

講師：長島猛人氏（浦和一女教諭）

・「クラブのリスクマネジメント」

講師：谷塚 哲氏（REGISTA 有限責任事業組合代表）

この講習会を企画した小林武技術委員長に話を聞いた。

「長島さんからは、改めて言葉の使い分け、ノウハウを学べということを変更して教わりました。適切な言葉を使わなければ、伝わるものも伝わりません。指導していく上でたけなりました。2種年代では、グラウンドに立ったときには強い言葉を使わなければ伝わらない。そういう使い分けは難しいですが、指導者は時と場合を考えて、身につけなければなりません。」

谷塚さんからは「私がコーチで参加した福岡国体で優勝したときのGKですが――指導者は普段から事故や安全に配慮しなければならないことを思い知らされました。そのためには指導者の人間性、普段からの父兄や選手との信頼関係が重要なんです。この「普段」の行動が、何かあったときにサポートしてもらえるかどうか。いろいろと考えさせられました。」

講義自体は好評でしたので、09年度も継続していきたいと思っています。今まで受講料は無料にしていたのですが、これからは受益者負担となると思います。今後ともよろしくお願いします」

指導者として選手、スタッフ、さらに父兄との関わる中で、今後は指導者に対しては、「資質」が問われることになるだろう。今後多くの方に受講していただきたい。



長島猛人氏



谷塚 哲氏

U-30 指導者講習会総括

SFAミッションに基づく「5ヵ年計画」の中で、高校年代を指導する若手指導者を集めて企画されたのが、U-30 指導者講習会。6月に松本光弘氏（平成国際大学教授・元 JFA 規律・フェアプレー委員長）を皮切りに、月に一度、多種多彩の指導者を迎えて受講者との対話形式を重視した少人数での講義を開催した。3月11日に、今年度の最後の講義（講師は坂庭泉氏）を終えたところで、この事業の担当者である坂庭泉・技術委員会副委員長に話を聞いた。

「まず反省になりますが、月1回の開催は受講者には負担だったということです。当初、受講者から大丈夫だと言ってもらっていましたが、なかなか全員が揃うことがなかったのが残念でした。」

実際の内容については、ほとんどがS級ライセンスの保持者ということもあり、受講者としては高校年代を指導している講師の話の聞きかたがたのようです。そのせいででしょうか、講義というよりもディスカッション形式ではあったのですが、なかなか質問が出ず、受講者が消極的になっていました。まあ、彼らから見れば

ば質問するのも遠慮してしまいそうな方々に来てもらったということもあるのですが(笑)。

それでも少人数の講義の中で、受講者には講師のサッカーにかけ熱い思いは十分に伝わったと思います。講習会がHOW TO物が多くなって来ている中で、熱い思いを伝えるこのような講習会もいいなと思いました。

講師の皆さんには、この場を借りて改めてご協力を感謝します。ありがとうございました」

手探り状態の事業ではあるが、先輩指導者の話を聞くというのはなかなか無いこと。今後の指導に少しでもプラスするには、受講者側がもっと積極的になる必要ではないだろうか。指導者は常に学び続けなければならないということだ。

08年度埼玉県GKキャンプ(U-15)開催

埼玉県 GKプロジェクトチーフ 高橋 智

●能動的で主体的なGKを育成していきたい

GKトレーニングの普及が進み、GKトレセン活動も活発に行われるようになった背景などもあり、3種年代 GKの技術は大きく進歩していると感じた。一方、トレーニング慣れしてきている雰囲気もあり、このキャンプでは普段のトレセンとは異なった内容を盛り込んでみた。

トレーニング1・2では、まずはサッカー選手の基本であるパス&コントロールとサポートのタイミング、角度、距離などについて行った。フィールドプレーヤーであるならば、なんなくこなせるであろう内容だが、GKではかなりミスが目立った。より高いレベルのゲームになれば、GKがフィールドのサポートやDFカバーを行うことは当然であり、GKもフィールド選手同様1/11という観点から、重要なスキルが欠けていると感じた。

トレーニング3ではサッカーにおける攻守の原則を理解しているかという点で行って見た。攻撃に関してはパスの優先順位、スペースの使い方、サポートのタイミング・角度など、守備に関しては正しいポジショニング、チャレンジ&カバー、数不利な場面での連携などにフォーカスしてみた。想像はしていたが、やはり攻守共に原則の理解が低い。実際にGKとしてピッチに立った時、DFと連携してポジションを修正したり、マークを確認するなどの的確なコーチングは出せないであろうと感じた。

スタッフチームを作り、選手と戦わせる中で、『なるほどこうやれば得点につながるんだ』『ボールの追い込み方はこうするんだ』というヒントを得て、チームごとに工夫していく様子がかがえ、この年代の吸収力の速さを実感した。そして、普段のトレーニングでフィールドプレーの重要性を改めて感じ、プレーの機会を増やして欲しいとも感じた。

AMのゲームでは、ゲームの中でいかにGKとしてのスキルを発揮できているかについて観察してみた。特に注目したのがプレースタイルは受動的なのか、それとも能動的なのかと言う点である。できうるならば、能動的で主体的なGKを育成していきたいと考え、ゲームで存在感のあるGKをめざしトレーニングを行った。まだまだ受動的なGKが多かったが、今回のトレーニングを機に変化していくことを期待したい。

休憩をはさみ、PMのトレーニングではディストリビューションにつながるスローイング(オーバー・アンダー・ベースボールスロー)、パントキック(サイドボレー、ドロップキックを含む)、プレスキックのトレーニングを行った。筋力的な問題もあり、しっかりとスローイング・キックができていない選手は、全体の1/5程度で



あった。特にスローイングの能力が低いように思われる。その後のゲーム中でも、自らのスローイングミスでピンチを招く場面が見られた。課題の一つといえよう。

PMのゲームではフリーマンやクロッサーなど攻撃時には数的有利に、守備時には数的不利になる状況下でのゲームとなった。ここで注目したのはリスクマネジメントとDFとの連携である。特に攻→守への切り替え時に状況をしっかりと見て判断しているか、味方攻撃時に正しいポジショニングがとれているのか、という点でトレーニングを進めた。GKから出されるコーチングのほとんどがボールホルダーに対するDFへの指示で、『寄せろ』『中を切れ』などOnの選手へのコーチングとなっていた。

リスクマネジメントという観点から、ピンチを未然に防ぐような、Offの選手へのコーチングの質を上げていって欲しい。また、味方がボールを保持している時から、よいポジションをとり、攻撃から守備に移った時に、余裕を持ってプレーできるように常に心掛けて欲しいと感じた。

一日のトレーニングを通じ、プレーの改善が観られる選手や意識の改善が観られる選手が多く、意義のあるキャンプであったと感じている。また、今年度はスケジュールの都合でNTCのコーチを招聘することは叶わなかったが、来年度以降、積極的に外部からの指導者を招き、私たち指導者自身の刺激にもしていきたいと感じている。また、開催時期、対象年齢なども考え、より効果的で意義のあるキャンプが行えるよう進めていきたいと考えている。



横山専務理事、さいたま市で講演

2月21日、「さいたま市サッカーのまちづくり推進協議会」主催で指導者講習会が開催され、4種指導者を対象に横山専務理事が講演を行った。

テーマは「今後のジュニア世代育成について」。前半はSFAミッションを紹介し、後半に4種年代の育成環境を語った。質疑応答の中で「4種リーグが始まり、トレセンはどうなるのか」という質問が出たが、横山専務理事は「まずトレセンに呼ぶ“素材”をこの年代で見極められるのか。それは難しい。選手は『チームで育つ』『チームで育てる』としないと、日本のサッカーはよくならない。トレセンが無くても選手は育つ。でも、チームが無くても育たない。もっとチームを大事にしてほしい」と語った。



写真提供：さいたま市

栄光旗はレッズユースに

3月14日さいたま共済会館にて平成20年度埼玉県体育賞授与式が開催されました。

栄光旗 浦和レッズユース(全国大会優勝団体)

優秀選手賞 浦和レッズジュニアユースレディース(全国大会優勝団体)

功労賞 原田 明(SFA監事)

※栄光旗は最も輝かしいアマチュアスポーツ団体に送られるもの。浦和レッズユースは全日本ユースU-18サッカー選手権大会で初優勝を果たしたことによる受賞。坂本祐之輔県体育協会長から浦和レッズユースに授与された。

インフォメーション

●4種リーグ・ブロック長会議開催

2月1日、08年度のブロック長にお集まりいただき、反省とこれからの課題を話しあった。各ブロック長の皆さんには、日程調整、グラウンド確保など、様々な仕事をしていたいただき、感謝いたします。09年度もよろしくお願い致します。



●お詫びと訂正

・前号の秋山4種委員長のインタビュー中、さいたま市の北部が4種リーグに対して非協力であるかのように取れる文面がありました。そのような発言はされていません。関係者の皆様には、不愉快な思いをさせてしまったこととお詫びいたします。

・1級審判に合格した塚田智宏氏の勤務先が三郷高校になっていましたが、正しくは吉川高校の誤りです。関係者の皆様にお詫びいたします。

・「飯能ブルーダーの名称変更」についてお知らせしましたが、これは関東リーグに所属している社会人のチームのみです。従来からある「NPO飯能ブルーダー」は、そのまま活動しております。言葉足らずで関係者の皆様に誤解を与えてしまいましたこととお詫びします。

・「埼玉サッカー100年史」の女子委員会座談会の中で、編集サイドの判断による修正記述で関係者の皆様に不快な思いをさせたこととお詫びいたします。

●「年鑑」のお支払いについて

2005年3月に発行した「(財)埼玉県サッカー協会年鑑・2005/2006」の代金のお支払いが確認できないチームがございます。お手数ですが、再度確認していただけますでしょうか。まだの場合はすみやかにお支払いいただき、振込用紙をコピーして事務局までファクスでお送りください(048-834-2004)。

また、お支払い済みであればご確認のために、振込用紙をコピーして、事務局までファクスでお送りください。このご連絡と入れ違いにお支払いいただけておりましたら、ご容赦ください。何かご質問があれば、ファクスでお受けいたします。

なお、お支払いいただけない場合、皆様からいただいた登録料で欠損処理をしなければなりません。お仲間うちでの声かけもお願いします。

振込先: 埼玉りそな銀行北浦和支店・普通 4053066
埼玉県サッカー協会年鑑担当

代金のお支払いが確認できないチーム一覧

チーム名	本金額	送料	合計金額
与野 SC SERENO	8,500	850	9,350
江南ブロックリズサッカーアカデミー	5,100	850	5,950
岩槻柏陽	1,700	550	2,250
TEENS 小江戸川越	8,500	850	9,350
朝日フットボールクラブ GRAZIE	1,700	550	2,250
PRIOR AGE FOOTBALL CLUB	1,700	550	2,250
浦和 UFC	5,100	850	5,950
羽生 SC	3,400	550	3,950
大日本コンサルタント株式会社	1,700	550	2,250

チーム名	本金額	送料	合計金額
三郷ダブリン	3,400	550	3,950
FC エンペラー	3,400	550	3,950
三郷カプリコーン	3,400	550	3,950
FC. ウェンブリー吉川	1,700	550	2,250
フリーズFC	1,700	550	2,250
プレゼン	1,700	550	2,250
FC 宗岡	1,700	550	2,250
越生サッカークラブ	1,700	550	2,250
エスペランサ	1,700	550	2,250
Takechan's	1,700	550	2,250
川口 EAST・FC	1,700	550	2,250
明和フットボールクラブ	1,700	550	2,250
クラリオンFC	1,700	550	2,250
エスペランサ サテライト	1,700	550	2,250
いちご畑 FC	1,700	550	2,250
FC 南本庄	1,700	550	2,250
PLEASURE FC	5,100	850	5,950
大滝 FOOTBALL CLUB	1,700	550	2,250
埼玉工業大学	8,500	850	9,350
草加南高等学校	1,700	550	2,250
越谷北高等学校	0	550	550
三郷北高等学校	1,700	550	2,250
騎西高等学校	1,700	550	2,250
小川高等学校	1,700	550	2,250
深谷高等学校	1,700	550	2,250
本庄高等学校	5,100	850	5,950
本庄東高等学校	5,100	850	5,950
飯能ブルーダーユース	1,700	550	2,250
川里町立川里中学校	3,400	283	3,683
さいたま市立与野東中学校	1,700	283	1,983
さいたま市立大砂土中学校	1,700	61	1,761
さいたま市立片柳中学校	1,700	61	1,761
さいたま市立七里中学校	1,700	61	1,761
さいたま市立土呂中学校	1,700	61	1,761
埼玉栄中学校	1,700	61	1,761
さいたま市立桜山中学校	1,700	170	1,870
志木市立志木第二中学校	1,700	550	2,250
新座市立第四中学校	1,700	142	1,842
立教新座中学校	1,700	142	1,842
和光市立大和中学校	1,700	283	1,983
鴻巣市立鴻巣中学校	1,700	283	1,983
鴻巣市立赤見台中学校	3,400	283	3,683
北本市立北本中学校	1,700	283	1,983
北本市立宮内中学校	1,700	283	1,983
熊谷市立妻沼西中学校	1,700	121	1,821
熊谷市立大里中学校	3,400	121	3,521
岡部町立岡部中学校	1,700	121	1,821
花園町立花園中学校	3,400	121	3,521
大畑サッカースポーツ少年団	1,700	550	2,250
上高野少年サッカークラブ	3,400	550	3,950
八潮中央サッカースポーツ少年団	1,700	550	2,250
西町フットボールスポーツ少年団	8,500	850	9,350
スポーツ少年団川鶴FC	1,700	550	2,250
仏子ブラックススポーツ少年団	1,700	550	2,250
FC 藤沢北	6,800	850	7,650
大宮ストライカーFC サッカースポーツ少年団	1,700	550	2,250
南浦和サッカー少年団	1,700	550	2,250
浦和大谷口サッカースポーツ少年団	0	550	550
柏葉サッカースポーツ少年団	1,700	550	2,250
FC リトルイレブン	0	550	550
P.F.P cume	5,100	850	5,950
ウィンフットボールクラブ	1,700	550	2,250
大砂土 NORTE FC	3,400	550	3,950
F C 浦和コスモス	0	550	550
東大宮エンジェルス	1,700	550	2,250

編集後記

●再三の催促の末、やっと書き終えました。毎回あとがきの提出には全職員手こずっているようだ。わずかに数十文字だが、今回は予算編成ですっかり忘れてしまっていた。花の便りも届き始め、春が近づきつつあるのを実感できる季節となりました。そうだ! 京都に行こう。(高橋)

●世間は景気後退で大変な時代になっていますが、こんな時こそグラウンドでサッカーをして良い汗を。ボールが1個あれば出来るのがサ

ッカーの原点だと思えます。(坂庭)

●春、桜の季節になりました。卒業など別れもありますが、始まりの季節でもあります。新しい友人・学校・職場・・・皆さんにとっていい出会いの季節になりますように。(こいち)

●最近やっと暖かくなってきて、季節の変化が服装にも表れるようになりました。今まで上着の中に4枚着ていたのが3枚になり、もう少ししたら上着もちょっと薄手の物に変えられそう

です。(かのう)

●SMC サテライト講座 in 埼玉第1期生となる受講生33名の皆様からは、学び続ける姿勢が持つパワー、そして笑顔を毎々のセッションで頂き感謝しております。(小豆澤)

●今年度も4月下旬より県下各地で4種リーグ戦が始まります。JFAでは「リーグ戦文化の醸成」を謳いU-12年代の重要性の認識を掲げました。子どもたちのために。(栗島)